

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・GM	写真・GT
山行番	NO. 1846		
日時	2019/11/24 (日) 曇～晴		
山域	羅漢寺山 (1058m・弥三郎岳)		
テーマ	静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック交流ハイキング		
コース	夫婦木神社駐車場 10:25ーパノラマ台 11:40ー羅漢寺山 12:00ーパノラマ台 12:45 (昼食)ー白砂山 13:30ー獅子平分岐 14:20ー長潭橋 (ながとろはし) 15:20		
標高差	上り 夫婦木神社駐車場 800m～羅漢寺山 1058m＝約 250m 下り 羅漢寺山 1058m～長潭橋 450m＝約 608m		
快適度	5 (5段階評価)＝藪はない		
参加者	後藤、峰田、井上、合谷＝伊豆 14、三島 1、沼津 8、裾野 4、駿東 8、富士宮 12 ＝全 47名		

静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック交流ハイイクで、山梨・昇仙峡＝羅漢寺山 (弥三郎岳・白砂山) へ山行。(参加者は 47 名で、これ程の大人数で山行するのはこの交流ハイイクぐらい)

裾野麗峰のメンバーは 6 時 45 分に長泉の平和タクシー前 (現在は別建物) で大型バスに拾ってもらって合流。

バスに乗ってからも時々小雨が降るあいにくの天気で、今日の山行は大丈夫かなと少し不安がよぎったが、昇仙峡に着いた 10 時過ぎには天気は回復し、晴れて 11 月にしてはだいぶ蒸し暑い気候となっていた。

夫婦木神社駐車場を 10 時 25 分に出発、先頭集団が金桜神社の方向に道路を進み始め、登山ルートも誰も疑うことなく、全員が先頭集団について歩き始めた。

金桜神社を過ぎて、5～6 分歩いたところで、スマホで現在位置を確認すると、登山ルートと全く違う道を進んでいることが判明。すぐに先頭に道を間違えていることを連絡し、方向転換。

(井上君も間違いを指摘。47 名もいるのに誰も登山ルートを確認せずに、先頭集団についていくとはビックリであった)



夫婦木神社駐車場



金桜神社

間違えた道に戻り、出発地点の夫婦木神社駐車場を少し下っていくと、右手に羅漢寺山への道標があった。(この時点で15分ぐらいロスしていた)



羅漢寺山への道標

道標から緩やかな登りの車道を30分進むと砂利道になり、さらに30分程進むと鳥居が見えてきてパノラマ台に11時40分に到着。

パノラマ台はロープウェイの駅があり、日曜日ということもあり軽装で登って来た観光客で賑わっ



パノラマ台 鳥居



パノラマ台 和合権現の御神木



弥三郎岳からの眺望



弥三郎岳の頂上

ていた。また、近くに和合権現の御神木があり、面白い形をしていた。

12時30分までパノラマ台で昼食の予定であったが、我々4名はトップで来ていたので、山頂の羅漢寺山を往復してから昼食を取ることにした。

パノラマ台から花崗岩の登山道が続き、15分程で山頂に到着。山頂には花崗岩の大きな岩をくり抜いて、三角点が埋め込んであった。眺望は非常に良く、茅ヶ岳が大きい。南アは雲が掛かっていた。パノラマ台に12時10分に戻って来てから昼食、12時30分まで20分もなく、ゆっくり食べる時間はなかった。(思うに最初の道間違いの15分ロスが悔やまれた)

12時30分に集合であったが、頂上から戻って来てない人がおり、12時45分に集合時間が変更になった。(後藤さんはその間、缶ビアを購入。サービスが良い店で、キノコのつまみを出してくれた上に我々にもお茶をサービスしてくれた)



ビールとキノコのつまミ



下山前の集合

12時45分、下山開始。コースが分かりにくい。100mほど下り、白砂山への分岐から白砂山に登り返し、簡単に頂上着。

白砂山は花崗岩の白ザレで、北に羅漢寺山が大きく見えた。

頂上の少し横に、スペースがあったので、そこで参加者全員で集合写真を撮ることになった。



パノラマ台からの下り



落ち葉・紅葉サクサク

白砂山から分岐まで戻り、昇仙峡口に向けて下山。
途中、展望良好な「白山」に寄った。ここも白ザレの展望台だった。



白山



展望台

白山からのゴールの昇仙峡口までの下りは結構長かった。(スタート地点 800m、羅漢寺山 1058m、ゴール地点 450mなので、登り 250mで下り 600mの山行であるから下りが長いのは当然) 15 時 20 分に無事にゴールの昇仙峡口に到着。天候にも恵まれ、紅葉も楽しめていい山行であった。なお、弥三郎岳は、2 万 5 千図では、「羅漢寺山」と表記されている。記録はそれになった。

その他の記述（後藤）

日向八丁の日向山に似ている。ポイントから下って事件。

S 山の会の S さんがスマホを落としたことが発覚。「ザックの何処かにあるのでは」で T さんが S さんの NO に発信。すると間髪を入れず返信があった。ロープウェイ駅からだった。最初、何故返信があったか分からなかったが、駅で着信に返信しただけのことだった。実はこの話、帰りのバスの中で、意外なことが判明した・・・。

紛失したスマホはロープウェイの上駅にあった。では、どのように回収するか。

1. 上駅に取りに行く・・・面倒
2. 着払いで送ってもらう・・・時間が掛かる
3. 下駅に送って貰い取りに行く・・・現実的

結局、下駅に届けてもらい、取りに行くことで決定。ただ、下山口からロープウェイ駅はバスで往復 30 分以上掛かる。

それでは、帰着が遅くなるので、皆に迷惑を掛けられない。それは避けたい。S さんと私が皆より先行して取りに行くことになった。久しぶりに山道を走った。岩道でなく、フカフカ道で助かった。気温が高かったので大汗をかいた。

バスドライバーの携帯を聞こうと思って該当者に電話したが中々出ない。これは基本的でない。長潭橋に着くとドライバーが丁度いた。すぐ出発。駅まで結構あった。スマホは無事回収。なんか手馴れている感じ。紛失物が多いのか??バスで戻ると、皆も下山しトイレだった。先行して正解

だった。復路のバス反省会で意外な話を聞いた。実は紛失したスマホを同会の仲間が拾って駅に届けたという！！

えええ～だったが、無くしたSさんは、落とした意識が無かったので、その話が分からなかったようだ。ま、よくあることかも。バスは混雑もなく、いただいたワインとビアを楽しみ、おおむね予定通り帰着。楽しい一日でした。ほか、

1. 下山時、Sさんに黄葉の「ダンコウバイ（壇香梅）」を教えて貰った。
2. 私は2万5千円、持参せず基本を外した。
3. 往路のバスで「羅漢」の説明。うろ覚えでいい加減な説明だった。反省。

「羅漢」とは・・・

らかんさんは お釈迦さまのお弟子さんで実在した人々です。お釈迦さまの説法を実際に聴き教えのおりに修行に励んで煩惱を払い聖者になったのです。修行を積んで煩惱を払い真実の智慧を完成した聖者をインドで「アラハン」と讃えました。

仏教が中国に伝わり「アラハン」の発音をそのまま生かして「阿羅漢」と表現。使い慣れるうちに「阿」がとれて「羅漢」と呼ばれるようになったのです。お釈迦さまが亡くなられたときに集まった500人のお弟子さんたちが「五百羅漢」のモデルであるといわれています。「らかんさん」は、後世の人々にお釈迦さまの教えを伝えていきました。「らかんさん」が存在しなかったら私たちはお釈迦さまの教えを知ることができなかつたでしょう・・・ネット



白砂山で全員集合

